

どの教会に
集うべきで
しょうか？



WHICH
CHURCH
SHOULD
I JOIN ?

どの教会に集うべきでしょうか？

はじめに

正しい選択をすることは、とても重要なことです——特に、あなたが若いときに。若いときというのは、疑問を抱いたり、選択をする時期なのです。

「救われるためには、わたしは何をしなければならないのだろう？」

あなたがこのような質問をしたとき、神のみことばは明確な答えを与えてくれました。

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたは救われます」(使徒 16:31)。

今やあなたは、キリストを救い主として受け入れたことによって、あなたに救いがもたらされたことと、

あなたの永遠の未来が保証されていることを、神のみことばをよりどころとして知っています。

しかし、今あなたは次のように問いかけます。

「わたしは、どこの教会に集うべきだろうか？」

この問いに対する正しい答えもまた、神のみことばのうちに見つかるものであり、ほかではどこにも見つかりません。聖書は、あなたを導き、あなたに示してくれるでしょう——他の信者の助けや励ましがあなたにとって祝福であるような、教会の交わりをどこに見いだすべきかについて。あなたがこの世界でキリストのご臨在を豊かに喜び楽しむことができるかどうかは、他のクリスチャンとの霊的な交わりや、どの教会に集うのかということに、大きく左右されます。

この小冊子を手にしたあなたが、新約聖書に目を留め、教会とはどういうものであるかを理解し、どの教会に集うべきか正しく選択できますよう、願っています。

どこに答えがあるか

その答えを見つけるためには、ただ神のみことばに全面的に導かれることが、無条件に必要です。人の考えや助言は、多くの場合、あてにならないものです。聖書はあなたに示してくれるに違いありません。自分がどう考えるか、または、自分の友人や親戚しんせきがどうするか、彼らがどこに交わりを求めて行くかということは問題ではありません。自分が行くべきところについて、主が何とおっしゃっているかということが、本当に重要なことなのです。もしあなたがこの点に留意するならば、たとえ、あなたが反対にあったり、出会う人々の中に間違いを見つけることがあるとしても、あなたは、神が命じておられるところに自分がいることを知るでしょう。また、神に喜ばれていることがわかるでしょう。

さあ、「私たちの足のともしび、私たちの道の光」(詩篇 119:105)である聖書を開く用意をしましょう。

そして、神が教会について、また、それを構成する人々について、何とおっしゃっているのかを知りましょう。「救い」と「主との個人的な交わり」の次に大切なのは、教会の交わりについて正しく導かれることです。それは、どこかに飛び入り参加をしたり、両親や友人が行っているところだからという理由で行くことではありません。神は、このことについて、みこころを示しておられます。ですから、それが何であるかを悟って、それを行うことが、確かにより良いことです。

聖書を開くうえで、私たちの果たすべき最初の課題は、神が教会について何とおっしゃっているかを理解することです。

教会とは何か

まず初めに、知っておいていただきたいことがあります。多くの人が「church(教会)」ということばを「宗教的な目的のための建物」という意味で用いていますが、実は、聖書にはそのような意味で使われてはいないということです。それは、あるグループを、つまり、キリストにある信者たちのことを指しています。言い換えると、「召し出された者たち」を意味しています(訳注：古代ギリシアでは、議会や集会は「召し出されて」行われていました)。このことばは、より厳密には「assembly(集会、集まり)」という意味の「エクレシア(εκκλησια)」というギリシア語の訳語です。教会は、福音によって、この世から召し出された信者たちの「assembly(集まり)」なのです。

次に知っておいていただきたいことは、教会は神に属するものである、ということです。使徒の働き 20章 28節には、「神がご自身の血をもって買い取ら

れた神の教会」であること、また、エペソ人への手紙の5章25節には、「キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられた」ことが書かれています。キリストの尊い血によって買い取られたので、それは神のものなのです。それは、国家や、ある地方の教会なのではありません。ある信条や、ある指導者に基づくものでもありません。それは神の教会なのです。

教会はまた、キリストの花嫁、キリストのからだとも呼ばれています。キリストは教会を花嫁として得るために、そして、ご自分の栄光に共にあずからせるために（黙示録 19:7）、彼自身をお与えになったからです。その後、キリストは天に上げられ、栄光をお受けになりました。そして今、聖霊が、キリストのからだを構成する人々に内住しておられる間、キリストはそのからだ（である教会）を養い、支えておられるのです。

また、キリストは、そのからだ（である教会）において唯一のかしらです（エペソ 1:22,23、コロサイ 1:17,18）。教会は、すべてのことにおいて、ただキリ

ストだけに従うのです（エペソ 5:24）。

かしらがただ一つであるように、からだもまた一つです（エペソ 4:4）。そのからだは、文化や知性、身分や業績が異なるさまざまな人々によって構成されており、私たちの肉体がさまざまな器官や四肢を持っているのと似ています。私たちは、一つの聖霊によってバプテスマを受け、一つのからだとなるようにされたのです。神は、その一人ひとりを、からだである教会のさまざまな役割に割り当てておられます。

人はずっと間違いを犯し続けてきましたが、キリストのからだである教会は一つであり続けます。それには、どんな人種であれ文化であれ、信じる神の子どもたちすべてが含まれています。彼らは皆、同一の尊い血によって贖われ、同じ聖霊により証印を押され、また内住されています。そして、神の愛に包まれており、いつか同じ永遠の住まいを共にするのです。このように、信じた者たちの中には、絶たれることのない、永

遠に続くつながりがあります。ただ悲しいことに、このことは、必ずしも皆に覚えられ、認められているわけではありません。

これが、聖書が語っている教会の姿です。教会は、聖霊が下ったペンテコステの日に誕生しました。世界中に福音が伝えられることにより、信じる者たちが聖霊によって召し出され、キリストのうちに新しく造られ、教会に加えられてきました（使徒2：47）。

ですから、もしあなたがキリストを信じる者であるならば、あなたはすでにこの教会の一員です。この群れに加わるために、あなたが何らかの行いや働きかけをする必要はありません。また、あなたが何をしようとも、そこから追い出されることはありません。神の絶対的な権威により、あなたが救われたとき、あなたは、神のからだなる教会の一員となったのです。そして、それは永遠に続くのです。

地域にある教会

これまで述べてきたような方向で、あなたが教会について考えたとき、その中のある人々がもはや地上には存在しないことに考えが及ぶかもしれません。そうです。彼らはすでに亡くなり、今は「肉体を離れて、主のみもとにいる」(Ⅱコリント 5:8) のです。一方、私たちのように、まだ地上にいる者たちは、イエス・キリストの証人として人々の間に住んでいます。そして、聖書から明らかのように、私たち信者は、住んでいる町や地域において、互いに孤立してはなりません。

キリストにある人は、同じいのちにある人々との交わりを強く求めます。「ひとりひとり互いに器官」(ローマ 12:5) であるからです。また、ヘブル人への手紙の 10 章 25 節からは、「ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしない」ことを教えられます。

そして、私たちは、新約聖書に、さまざまな場所に